平成２７年度　学校関係者・自己評価

１　本年度の重点目標

（1） 基礎的･基本的な学力を確実に身に付け、自ら学び続ける意欲と態度を育てる。
（2） 豊かな人間性と自主・自律の精神を育てるとともに、望ましい人間関係を構築させる。
（3） 自己の在り方、生き方を考え、自らを高め、主体的に進路を決定する能力を育てる。
（4） 自他の生命や人格を尊重し、健康で安全な生活を営む習慣を育てる。

重点目標の適切さ	【おおむね適切である】 「協働実践」という意識を高め、学校教育目標、重点目標の具現化に向け、次年度も取り組んで頂きたい。

A(4)ーそう思う　B(3)ーだいたいそう思う　C(2)ーあまり思えない　D(1)ー全く思えない

大項目	中項目	小　項　目	自己評価	学校関係者	今　後　の　改　善　の　方　策
学習指導	教育課程	○学校の教育目標や重点目標を達成できる教育課程となっている。	3，19	3，83	○本校生徒の実態に応じた教育課程を編成し、生徒の自己実現を図る。 ○各関係分掌と連携を取りながら、授業時数を確保する。
		○教育課程は生徒の実態に応じたものになっている。	3，33		
		○年間授業日数、各教科の授業時数の確保に努めている。	3，50		
	授業改善・学力向上	○生徒の実態に即し、基礎的基本的な内容が身に付くような教科指導を行っている。	3，09	3，66	○週末課題や長期休業期間中の課題等を通して、家庭で勉強する習慣を身につけさせる。 ○少人数・TTなど授業形態を更に工夫し、基礎基本の定着を図る。 ○長期休業期間を利用し、資格取得指導や教科指導を充実させ、生徒の学習意欲を高める。 ○生徒の実態に応じた内容の教科書を検討する。 ○パワーポイント等を使用した授業を行うなど、授業内容や指導方法の改善を図る。(各教室のスクリーン等の整備)
		○生徒の関心・意欲を高める教科指導の工夫をしている。	3，16		
		○教科指導に当たっては、学年や教科部会等の連携や協力が十分行われている。	3，26		
		○複数指導、少人数指導により学力の向上が図られた。	3，09		
		○教科指導は、シラバス、年間計画に沿った適切なものとなっている。	2，95		
学校関係者の意見等	○次年度についても、少人数及びＴＴ授業を展開し、きめ細やかな指導で、基礎基本が身につくよう指導して頂きたい。 ○各種の資格取得を通して、生徒の学習意欲と学力向上を図って頂きたい。				
生徒指導	規範意識の向上・生徒事故対応・家庭との連携	○身だしなみ、ルール・マナー指導が徹底されている。	2，57	3，30	○学年集会や全校集会を実施し、身だしなみやルール・マナー指導を徹底するとともに、生徒指導事故の未然防止に努める。また、外部講師による講演会の充実を図る。 ○入学時の早い段階から家庭と良好な関係を築き、家庭と連携した生徒指導に努める。 ○身だしなみ、ルール、マナー等の指導については、教職員の意識統一が必要。 （クラスによって、指導に温度差がある。統一した指導が必要） ○生徒指導で大切なことは、日頃から注意喚起すること。各先生方で、できるところから、始めることが大切。 ○服装、頭髪等の指導について、もう少し厳しくても良いのではないか。 ○自分の学科の生徒だけを指導するのではなく、各学科を超えた指導体制が必要。
		○教職員の理解と協力及び組織的連携がとれている。	2，78		
		○生徒の事故が発生した場合の指導が適切に行われている。	3，14		
		○生徒指導に関して家庭や関係機関との連携が図られている。	3，16		
	生徒理解・いじめ対応	○「いじめ」に関するアンケートや個人面談等の実施により、生徒理解やいじめの早期発見・早期解決となっている。	2，71	3，16	○いじめ防止に向け、日常的な声かけや生徒の生活実態のきめ細かい把握に努める。 ○学校全体で、イジメについて早期発見に取り組む必要がある。(例:毎月１回、イジメ防止確認日を設定) ○イジメや携帯電話の利用についての講話等を実施し、イジメ根絶に向け学校全体で取り組む必要がある。
		○「いじめ防止」について、生徒への啓発及び指導が十分に行われている。	2，90		
学校関係者の意見等	○生徒指導については、保護者との良好な関係を築くことが大切である。その上で、学校の教育活動に対し理解と協力を頂くよう努めてほしい。 ○いじめ根絶に向けた、取り組みを学校全体で行って頂きたい。 ○ネット等によるトラブルが多くなっているようである。ネットモラル等の講習会や講演会を実施する必要がある。				
進路指導	進路実現	○生徒の興味関心・能力適正、希望などを生かした適切な指導を行っている。	3，21	3.50	○進路指導部と学年団、各学科との連携を強化し、生徒の就業意識を高める。 ○インターンシップ、現場見学等を充実させ、職業(仕事)に対する理解を深めさせる。
		○学年、教科との連携を密にするなど組織的・計画的に行われている。	2，90		
		○進路学習は、生徒の自己理解の深化や進路意識の高揚を図る内容になっている。	2，90		
学校関係者の意見等	○生徒自身の進路に対する意識向上に努めて頂きたい。 インターンシップや工場見学、更に、ものづくりや資格取得などを奨励し、進路実現に今後も努めて頂きたい。 ○進路指導部と学年会、各学科との連携を図り、就職・進学について100%を達成して頂きたい。				
健康安全指導	心の健康	○生徒が健康で安全な生活を送るための指導体制となっている。	3，04	3，83	○教育相談に係わる教員向け研修会の充実を図る。 ○日常的な声かけと計画的な面談を実施する。 ○相談活動については、学校以外の関係機関から家庭に直接アプローチできるような体制があれば、問題や悩みを抱えた生徒が少なくなると思われる。学校と関係機関との連携強化を図る。
		○いじめや生徒の悩みに係わる相談について、スクールカウンセラーや各関係機関等との連携が図られている。	3，30		
		○担任・学年団の主体的な取組により、相談活動が活性化した。	3，07		
	防災・美化活動	○防災訓練、救急救命講習等により、健康安全の意識が向上した。	3，02	3，50	○訓練や講習により、生徒の災害や救護等に対する意識が向上した。 ○生徒会役員、保健委員会の生徒による巡回により、校内外がきれいになってきている。 ○教室の利用について指導することが必要。教室内の掃除やゴミの分別などをしっかりやる。
		○校舎内外の清掃活動が徹底されている。	2，90		
学校関係者の意見等	○生徒相談などについては、今後も継続した研修会を実施して頂きたい。 ○先生方の「きめ細かな指導」をお願いしたい。				
特別活動	自主的主体的な活動	○生徒会活動やホームルーム活動は充実した学校生活を送るためのものとなっている。	2，95	3，50	○部活動加入率減少の原因を分析し、効果的な対応策を検討する。 ○各部活動に対し、援助を行い活性化を図るとともに、地域のボランティア活動を拡充する。 ○部活動への加入率を高めることが必要。
		○生徒会役員、風紀委員会による朝の立ち番や昼休みの巡回により、生徒会活動が活性化している。	3，16		
		○部活動やボランティア活動の活性化が図られている。	2，88		
学校関係者の意見等	○次年度についても、部活動加入率を高めるための効果的な対応策を検討して頂きたい。 ○多くの生徒が加入することにより、活性化が図られる。				
組織運営	教職員の連携強化	○職員会議や各種会議が効率的に運営されるよう事前準備が適切に行われている。	3，33	3，50	○管理職・各主任等の連携を密にし、学校課題の解決に努める。 ○各種媒体による本校教育活動の積極的な情報発信を進める。 ○月例分掌会議や各学科会議を充実させ、教職員の経営参画意識を更に高める。
		○前年度の反省に基づき校務分掌や各種委員会で計画の見直しや改善が図られている。	2，90		
		○校務の推進にあたって校長、教頭及び部長科長から適切な指導助言が受けられる体制になっていると思いますか	3，02		
		○保護者・地域住民へ適切な情報提供が行われ、期待に応える教育活動になっている。	2，83		
学校関係者の意見等	○今後も、各分掌や学科、担任会との連携を図り、組織の活性化に努めて頂きたい。 ○教職員ひとり一人が学校経営参画意識を持ち、主体的に取り組むことで学校は変わる。連携の強化を図るとともに、学校評価・反省を確実に実施しマネージメントサイクルを意識した運営に努めて頂きたい。				
資質向上	研修等の充実	○校内研修会のテーマや時期は適切である。	3，09	3，09	○教職員の資質向上を重視した研修会を実施するとともに授業力向上を図る。 ○「学力等に問題を抱える生徒に配慮した授業の進め方等」についての研修。
		○授業技術や生徒の学習活動の充実に関する情報交換・研修は適切に行われている。	2，88	2，88	
学校関係者の意見等	○先生方の研修会として、教科に関わる研修等を実施して頂きたい。先生方の学習指導力の向上と授業改善のためにお願いしたい。				
信頼される学校づくり		○PTAや関係機関との連携・協力が図られている。	2，97	3，66	○小学校への出張授業やグラウンド整備、遊具修理等を通して、子どもたちと交流し成果が出ている。今後、ボランティア的行事を更に検討していく。 ○ものづくりの街にある学校(工業高校)として、教職員が自ら地域に出るような活動(地域との交流等)を行うことが必要。 ○地域の方の声に耳を傾け、工夫・改善を図りながら「信頼される学校」を目指す。
		○教師や生徒が、地域における諸活動に参加しやすい体制、雰囲気になっている。	2，88		
		○小学校や中学校との交流、連携が図られている。	2，88	3，66	
学校関係者の意見等	○生徒会活動やホームルーム活動を通して、地域貢献などの活動を推進して頂きたい。 ○生徒の地域活動への参加の面で、更に工夫・改善することが必要である。また、学校行事などについても、保護者が参加できるような内容を検討して頂きたい。				